



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	御前崎市浜岡中学校改築工事	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6	/5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.9	/5		ふつう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.2	/5		ふつう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.6
<p><b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b></p> <p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④劣化軽減対策等級3として耐用年数に考慮した。 ④各部材についてライフサイクルコストを考慮し、目標使用年数や残存期間に応じた材料、工法を考慮したうえで、仕上、設備の各々における高耐久性について留意した。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦建物外皮の熱負荷抑制に配慮し、BPI<sub>m</sub>=0.65とした。 ⑨LED照明など高効率な設備機器を採用してエネルギー消費の削減を図っている。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪大便器に節水コマ、自動水栓を採用し上水の使用量を抑制した。 ⑪雨水利用設備を導入した。 ⑬化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材を積極的に利用した。 ⑬耐火間仕切りに発泡材を用いず、ハロン・フロン使用しない仕様とした。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCCO<sub>2</sub>の排出率を参照値に対して88%とし地球温暖化抑制へ配慮した。</p>	<p>Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能</p> <p>Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備</p> <p>3.2 3.2.1 ③ 昼光制御</p> <p>Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数</p> <p>2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔</p> <p>Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制</p> <p>2 ⑧ 自然エネルギー利用</p> <p>3 ⑨ 設備システムの高効率化</p> <p>4 4.1 ⑩ モニタリング</p> <p>4.2 ⑩ 運用管理体制</p> <p>LR-2 1 1.1 ⑪ 節水</p> <p>1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無</p> <p>1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無</p> <p>2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減</p> <p>2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用</p> <p>2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み</p> <p>3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用</p> <p>3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤</p> <p>3.2.2 ⑬ 断熱材</p> <p>3.2.3 ⑬ 冷媒</p> <p>LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮</p> <p>2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>	3.6	
	<p><b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b></p> <p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯Z=1.2 I=1.25として1.5倍の耐震性能を確保した。 ⑰設備機器・配管等は耐震クラスAとして、地震災害に対して留意した。</p>	<p>Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性</p> <p>2.1.2 ⑯ 免震・制振性能</p> <p>2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備</p> <p>2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備</p> <p>2.4.3 ⑰ 電気設備</p> <p>2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法</p> <p>2.4.5 ⑰ 通信・情報設備</p>	3.9
		<p><b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b></p> <p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高を4.0m、壁長さ比率0.2としてゆとりのある設計とした。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p>	<p>Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画</p> <p>3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり</p> <p>3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ</p> <p>Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上</p>
	<p><b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b></p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/⑷敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■敷地外環境対策 (⑸温熱環境悪化の改善)</p>		<p>Q-3 1 ⑵ 生物環境の保全と創出</p> <p>2 ⑶ まちなみ景観への配慮</p> <p>3 3.2 ⑷ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>LR-3 2 2.2 ⑸ 温熱環境悪化の改善</p>